



相談室だより -3-

令和3年1月22日 高郷中学校スクールカウンセラー 加藤美穂子

一年でいちばん寒い時季です

2021年が明けました。今年もよろしくお祈りします。

さて、一昨日は「大寒」でした。二十四節気のひとつで、一年で最も寒さが厳しい頃を指します。昨年が雪のない異例の冬ただけに、今年の雪や寒さは、ひときわ厳しく感じられますね。そんな中、毎日がんばって登校しているみなさんは偉いです！凍結した道路で転ばないよう、気をつけて歩いてくださいね。

下の文章は、私が最近考えたことをまとめた文章です。高郷中のみなさんは、知性と思いやりのあるみなさんなので、下の文章に書いたような注意は要らないと感じますが、いまの私はコロナのことに全く触れずにおく気持ちにもなれなかったので、載せることにしました。時間があるとき読んでみてください。



昨年の1月に全世界に広がり始めた新型コロナウイルス感染症。1年経ち、終息どころか、変異ウイルスまで次々に出てきて、ますます困難さが増えています。今回の新型コロナウイルス感染症がもたらす問題としては、健康問題の他にも医療体制の逼迫や経済活動の停滞などがありますが、感染者・濃厚接触者・医療従事者に対する差別や偏見もまた深刻な問題となっています。新型コロナウイルスは人類にとって共通の課題なのに、どうして人々の間に差別や偏見が生じてしまうのでしょうか。

実は、特定の病気に対する差別や偏見は、人類の歴史の中では古くからありました。不治の病と言われていた病気ほど、また、人から人へと感染し、目に見える症状が著しい病気ほど、その患者や家族に対する差別は根深く凄まじいものがありました。代表的なものに、ハンセン病があります。書籍や映画にも数多く取り上げられていますので、機会があれば見てみてください（身近なところでは、映画『もののけ姫』のタタラ場の場面）。ハンセン病以外でも、新しい感染症が出てくたびに、人類は同じあやまちを繰り返してきました。

みなさんは、差別や偏見はどうして起きるのだと思いますか。

みなさんにも、私にも、誰の中にも、次のような気持ちはありませんか。



・・・未知の病気って、怖いよね？ 特効薬もなく、ワクチンもなかなか手に入らないなんて、心配だよ？ ニュースを見ていると、どんどん感染者が増えて、世界中でたくさんの方が亡くなっているなんて、恐ろしいよね？ 感染予防のために毎日いろいろなことを我慢しているのに、状況が全然良くならないなんて、悔しいよね？・・・

そんないろんな不安が大きくなって、負の力になって、人を攻撃してしまうのではないのでしょうか。

人は不安なとき、そしてその不安の正体がわからないとき、宙ぶらりんな状態に耐えきれずに、誰かを悪者にして攻撃することがよくあるものなのです。誰かを差別して、「自分はその人とは違う。自分は安全だ」と思うことで、不安を払拭したいのです。けれど、そんなことをしても事態は悪くなるばかりです。何より差別は、相手を傷つけ、悲しい思いをさせる、重大な人権侵害となります。

感染症に対する不安は、知性で克服できます。病気について調べ、理解すること。予防や治療のためにできることを考え、実践すること。感染した人や家族、治療や看病にあたる人達の立場を知り、気持ちを想像すること。

私達は愛と知性を持って、この状況に立ち向かっていきましょう！



まだまだ冬真只中ですが、お日様が沈む時間が少しずつ遅くなって、きれいな夕暮れが見られる日も出てきましたね。木々の枝先では、小さな芽が春の準備をしています。季節は静かにゆっくり移ろっているのですね。



SC 来校日：2月5日 2月12日 2月19日 3月5日

